

### (3) 芹ヶ沢公園

県道（三春・門沢線）から右へ、芹ヶ沢公園へつづくならかな道を登るにつれて、大木こそ見られないがコナラ、モミジ、ヤマウルシ、ウリカエデなどの木々が自生している。

初夏の新緑のころや、紅葉の季節には、木の葉が色づき、訪れる人々の心をなごませてくれる。

広場にたどりつく手前の右側には、白っぽい木はだの五枚葉をつけたコシアブラの木が目につく。秋には広場のつきあたりのところには、高く茂ったナナカマドが赤い実をつけ、紅葉の美しさをいっそうきわだったものになっている。

広場からヤマウルシ、ハウチワカエデなどが茂る急な細い坂道をおりると、木々の間から光って見えた池がぼっかり姿を見せる。そこにはヒルムシロ、コウホネなどの水草やカツバタなどが見られる。

この池には、コイ、マブナ、エビ、ヘラブナなどがすんでいる。

また、池のまわりには多くのアカマツが自生しており、木はだが美しく心なごむ散歩道



芹ヶ沢の池